

令和 8 年 6 月 24 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

議会運営委員会委員長 小田 新紀

議員派遣結果報告書

令和 8 年 5 月 15 日に決定されました議員派遣について、次のとおり報告する。

記

1 派 遣 名

議会運営委員会先進地視察調査

2 目 的

議会活動に必要な知識の習得及び情報収集を行い、議会機能向上に資するため。

3 派遣場所

芽室町役場 3 階委員会室（芽室町議会）

4 派遣期間

令和 8 年 6 月 2 日（1 日間）

5 派遣議員

委員長 小田新紀 副委員長 野原恵子

委 員 塚本逸彦、内山美穂子、酒井はやみ、荒 貴賀、
岡本眞利子

オブザーバー 石川康弘

議 長 寺林俊幸 副議長 中橋友子

（以上 10 名）

（田口廣之議員 1 名欠席）

6 派遣内容

- ・視察概要 議員の学校及び議会モニター制度について
- ・所 感 「議員の学校」及び「議会モニター制度」のいずれの取組も、議会改革・議会活性化の一環として位置づけられており、その土台として「議会活性化計画」が重要な役割を果たしている点が大変参考となった。

「議員の学校」については、議員を直接的に養成するというよりも、町民に議会や議員の役割を知ってもらい、まちづくりや議会への関心を高める機会として設計されている点

が印象的であった。講座の内容や進め方についても、目的を明確にし、議員全員が共通認識を持って関わることの重要性をご教示いただいた。幕別町議会で実施を検討する際にも、「誰に参加してもらうのか」「何を学んでもらうのか」「その後、どのように議会や地域参加につなげるのか」を整理したうえで制度設計する必要があると感じた。

また、議会モニター制度については、町民の意見を聞くだけではなく、フィードバックの仕組みを確立し、議会運営や委員会活動、政策形成につなげていこうという姿勢に大きな意義を感じた。いただいた意見を整理し、議会内で共有・検討し、今後の活動に反映していく流れは、議会と町民との距離を縮め、議会への信頼を高めるうえで重要である。

今回の視察を通じてあらためて感じたのは、制度を設計していく際、議会としての目的や課題認識を明確にし、それを議員全員で共有することの重要性である。幕別町議会においても、先進事例を単に取り入れるのではなく、本町議会として何を目指すのかをあらためて明らかにしながら、「議員の学校」や「モニター制度」の導入、さらには議会活性化計画の策定といったことも参考にしていきたい。今回の視察は、議員のなり手不足対策と議会活性化を進めるうえで、大変有意義なものであった。



(芽室町議会 梶澤議長)



(芽室町役場 3 階委員会室)